

第2学期始業式 式辞

2023年の8月が終わろうとしています。高校3年間で24時間の時刻に置き換えると、各年次の2学期はじめは何時頃になるでしょうか。1年次生は午前4時前のまだ夜明け前、2年次生は12時前で午前はほぼ終わり、3年次生は午後8時前で日暮れ時過ぎです。年月や時間は、気付かないうちに進んでしまうことを、改めて感じます。

さて、7月20日の1学期終業式で、「自分の経験の意味を見付けること、意味づけることが自信につながる」という話をしました。1か月余りの夏休みの間に、今の自分や未来の自分にとって意味ある経験は皆さんにあったでしょうか。

今日は、再び自信について話します。私は、自信には二つあると考えています。「外なる自信」と「内なる自信」です。

外なる自信は、分かりやすいです。誰かと自分を比べることで得られる自信です。「敵に勝った。みんなよりできた。友達よりましだった。平均以上だった。」など。しかし、分かりやすく、変わりやすいです。周りの環境によって、揺らぎやすい自信とも言えます。

それに対して内なる自信は、自分の内側で、自分で意味を見付ける自信です。「納得できた。結果はともあれ全力を出し切った。次への課題が見つかった。自分の弱さと向き合えた。あの人の役に立つことができた。」など。じっくり自分と向き合わなければ手に入れることはできませんが、それだけ周りに左右されにくい、どっしりとした自信と言えます。

外なる自信、内なる自信、両方が皆さんの成長や自立には必要です。私は特に、内なる自信が大事だと思っています。内なる自信は、逆境になったときのあなたに安定や安心をもたらします。そして、未来のあなたの支えとなり、誇りとなる自信です。

北条高校生徒の皆さん、2学期の間に、内なる自信を一つ、自分の中に見つけてください。私の願いです。

今日から始まる2学期が、あなたたち一人一人にとって、内なる自信につながる意味のある時間になることを期待して式辞とします。

令和5年8月28日 愛媛県立北条高等学校長 渡邊 俊